

経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県高松市 みんなの病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	ド透I 訓 方	救 臨 感 へ 災 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
428,296	27,300	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

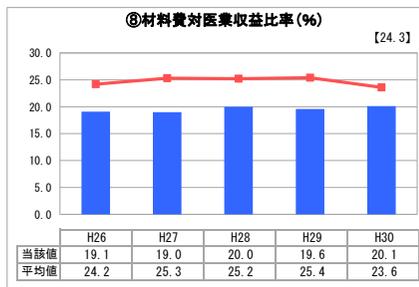
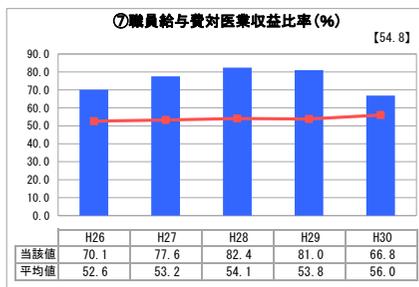
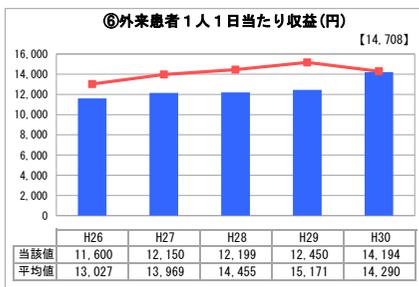
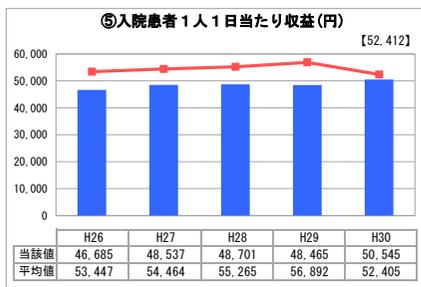
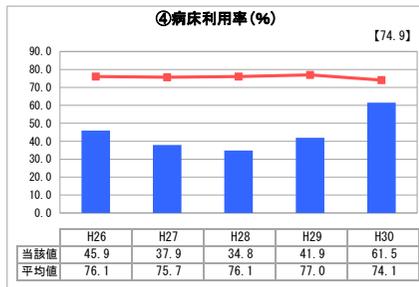
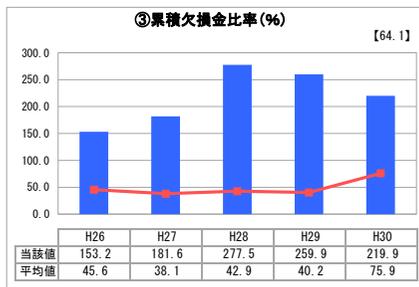
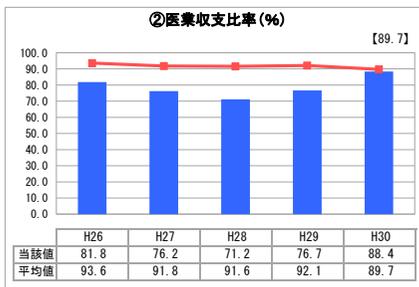
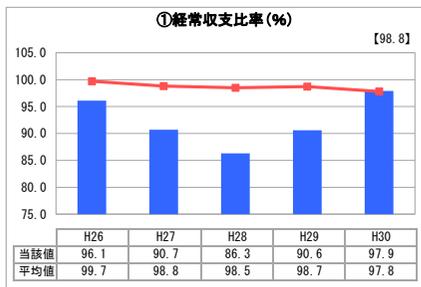
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
299	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	6	305
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
289	-	289

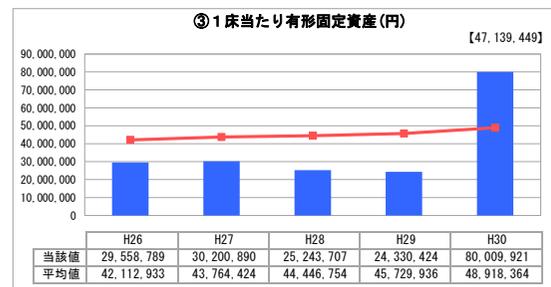
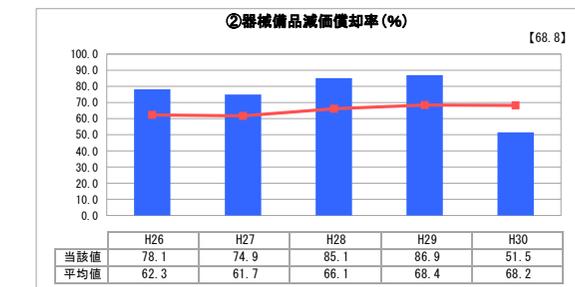
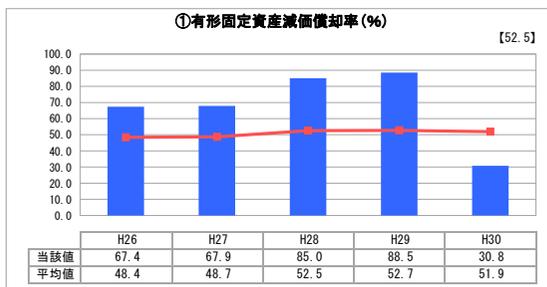
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成30年度	-年度	-年度

I 地域において担っている役割

急性期医療を担う中核病院として、地域医療機関との連携を図りながら、良質な医療を提供することはもとより、公立病院として、救急医療や、がん治療などの専門医療、実習生等の受け入れによる人材育成など、採算性等の面から民間医療機関では困難な医療サービスの提供に努めている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

②医業収支比率、③累積欠損金、④病床利用率、⑤⑥入院患者（外来患者）1人1日当たり収益、⑦職員給与費対医業収益比率、⑧材料費対医業収益比率については、類似病院平均値を下回った（③、⑦は上回った）ものの、平成30年9月に高松市立みんなの病院へ移転統合したことにより、昨年度と比較すると大きく改善した。また①経常収支比率については類似病院平均値を上回った。これは移転後の患者数が増加したことにより、入院収益等が増加したためである。今後、減価償却費の増加等により、経常収支比率などの悪化が予想されるが、更なる新規患者の確保を図ることで、病院経営の健全化に努めたい。

2. 老朽化の状況について

平成30年9月に高松市立みんなの病院に移転統合したことにより、それに伴い医療器械等を大きく更新したことにより、①有形固定資産減価償却率、②器械備品減価償却率については、類似病院平均値を大きく下回り、また経年比較においても大きく数値が改善した。一方で、③1床当たり有形固定資産は経年比較及び類似病院平均を大きく上回っており、今後、減価償却費として経常支出の増大が予想されることから、更なる新規患者の確保を図ることで、その投資を経常収益で賄えるよう努めていきたい。

全体総括

市民病院と香川診療所が移転統合し、平成30年9月から、高松市立みんなの病院としてスタートし、急性期病院としての医療機能の充実を図る一方、地域包括ケアも見据えた病床機能の強化や人材育成についても、積極的に取り組んだことで、経営の健全性・効率性においても一定の効果が見られた。しかしながら、施設規模拡大による経費増の影響等から、今後、減価償却費が増大するほか、新病院整備に係る企業債の償還が始まるなど、引き続き厳しい経営状況が想定される。このことから、平成29年度に策定した第3次高松市病院事業経営健全化計画（平成30年度～令和2年度）に基づき、これまで以上に良質な医療の提供に努めることで、患者数の更なる増加を図り、堅実かつ適正な病院経営に取り組みたい。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県高松市 市民病院塩江分院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	訓	^
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
428,296	3,621	第2種該当	20:1	

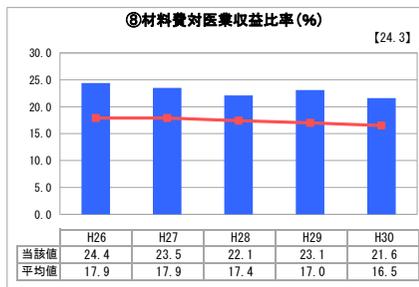
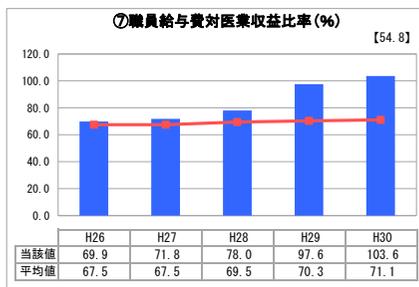
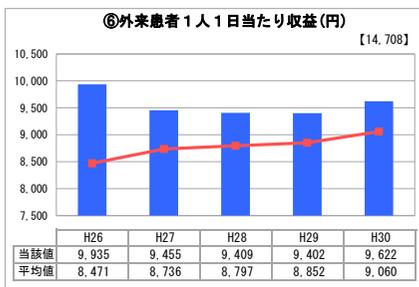
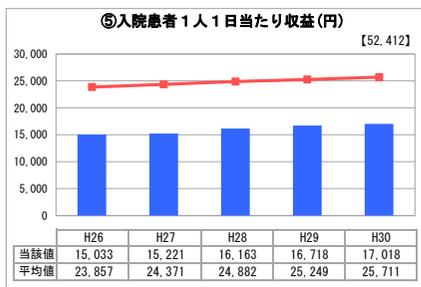
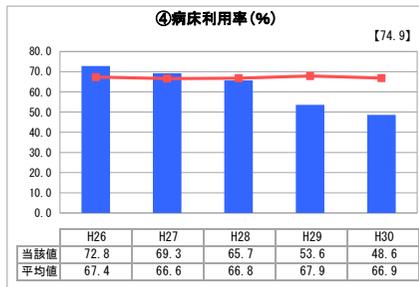
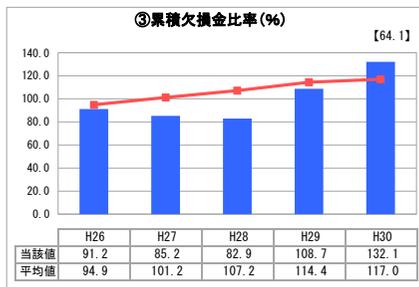
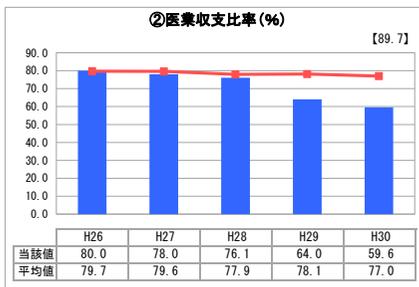
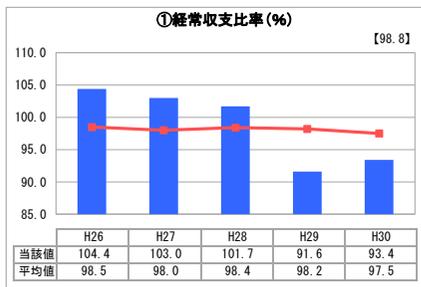
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

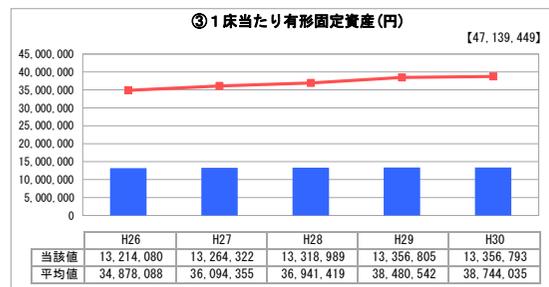
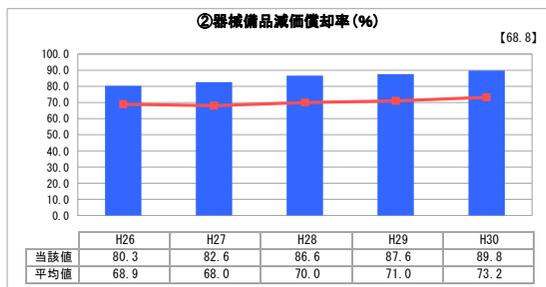
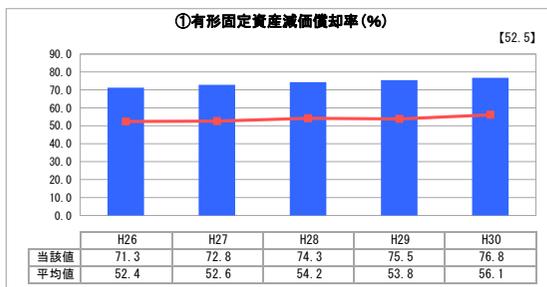
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
-	87	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	87
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
-	56	56

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
-	類似病院平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-年度	-年度	-年度

I 地域において担っている役割

塩江地域唯一の医療機関としての責任を果たすため、住み慣れた自宅で家族の負担を軽減しながら安心して療養できるように、「在宅療養支援病院」として、医師、看護師が24時間・365日体制で患者の在宅療養を支援している。また、訪問診療や訪問看護を始め、歯科医師や理学療法士等、多職種が地域に向き、専門性を活かした活動の充実のほか、交通手段を持たない地域住民のための患者送迎バスの運行など、職員全員で地域を支える「地域まるごと医療」を実践している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成29年度に引き続き、塩江地区人口の減少のほか、入院患者の死亡等の影響等により、患者数が減少し、④病床利用率は、5.0%を下回るに至っている。これにより医業収益が減少し、①経常収支比率、②医業収支比率、③累積欠損金比率、⑦職員給与費対医業収益比率において類似病院平均値を下回る(③、⑦は上回る)結果となった。今後において、急性期病院や介護施設等を訪問し、紹介患者の確保を図る等により、患者数確保に努めていきたい。

2. 老朽化の状況について

平成29年度に引き続き、①有形固定資産減価償却率、②器械備品償却率については、類似病院平均値を上回っており、老朽化が進んでいることが分かる。③1床当たり有形固定資産についても、類似病院平均値を大きく下回っており、施設設備への投資が平均よりも少ない。塩江分院は、平成30年9月に開院したみんなの病院の附属医療施設として、観光施設と一体的に整備しているところである。整備完了までは、現有設備の適切な維持管理に努めたい。

全体総括

人口減少、高齢化が進んでいるという地域の特性上、大幅な患者数の増加は困難と思われるが、できる限りの患者確保に向けた取組が必要である。また、平成29年度に策定した第3次高松市病院事業経営健全化計画(平成30年度～令和2年度)において、高松市立みんなの病院の附属医療施設として、再編・ネットワーク化を行うこととしており、30年度は整備候補地を自然休養センターの跡地及びその隣接地とし、道の駅及び浴場施設と一体的に整備することで検討を開始したところである。速やかに整備を進めるとともに、「地域まるごと医療」をスローガンに、健全経営に努め、保健、医療、福祉が一体となって地域包括ケアに貢献していきたい。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。